



大谷尊由画「東海道五十三次」

より日本橋

獅子新春

平成 27 年 1 月 6 日 (火) ~ 2 月 20 日 (金)



獅子頭・郷土玩具



ジョサイアコンドル画

「獅子舞図」

登録有形文化財「藤岡家住宅」うちの館（やかた）

奈良県五條市近内町 526 ☎ & FAX 0747 (22) 4013

獅子新春 ～ 藤岡家に残る「獅子」をめぐる資料 ～

平成 27 年 1 月 6 日（火）～2 月 20 日（金）

登録有形文化財「藤岡家住宅」母屋にて

2 月 21 日（土）からおひなさまに替えます。「藤岡家のひな」は 4 月 3 日まで

獅子舞は日本各地で、正月やお祭の時に行われています。獅子頭を頭にかぶって舞い、主にお正月などに行われて疫病退治・悪魔払いをされると言われます。藤岡家の所在する五條市近内にも「伊勢大神楽」が訪れます。伊勢神宮のお札をもって三重県を拠点にして旅をする神楽で「大神楽」古くは「代神楽」とも表記され、伊勢神宮を代理参拝するという意味を持っています。新しい歳を祝い、ジョサイアコンドルの描いた獅子舞を含め、藤岡家所蔵「獅子像」のあれこれを展示します。

「獅子舞之図」ジョサイア・コンドル画 明治時代

Josiah Conder 1852 年 9 月 28 日～1920 年 6 月 21 日イギリス、ロンドン出身の建築家。お雇い外国人として来日し、政府関連の建物の設計を手がけた。工部大学校（現・東京大学工学部建築学科）の教授として、日本人建築家を育成し、明治以降の日本建築界の基礎を築いた。のちに民間で建築設計事務所を解説し、財界関係者の邸宅を多く設計した。河鍋暁斎に師事し日本画を学んだ。「コンドル」はオランダ風の読み方で「コンダー」の方が英語に近い。

「東海道五十三次合作図巻」より「東京日本橋 都心ゆふぐれ」大谷尊由画

日本橋の欄干の「獅子」のシルエット

おおたにそんゆ・宗教家・政治家。京都生。西本願寺二十一世光尊（明如上人）の四男、二十二世光瑞（鏡如上人）の弟。号は心斎。連枝として社会事業を統掌する。画を中島華陽に学び、心斎と号して多くの秀作を残す。書も能くし、茶道にも堪能であった。貴族院議員、第一次近衛内閣の拓務相となる。昭和 14 年（1939）寂、54 才。

「東海道五十三次漫画絵巻」（大正 10 年東京漫画界製作）より『日本橋』 岡本一平画

「大正の日本橋は獅子と麒麟の欄干」と記され、麒麟の欄干の方が描かれている。

おかもといつぺい・漫画家。北海道生。東京美術学校卒業。新聞漫画などを描いた。

妻かの子は小説家、長男太郎は前衛芸術家。『紙上世界漫画漫遊』『弥次喜多再興』等。昭和 23 年（1948）没、

「東海道五十三次漫画絵巻」は、岡本一平、清水對岳坊、代田収一、池部鈞、下川凹天、小川治平、在田稔、森島直三、中西立頃、前川千帆、幸内純一、穴戸左行、山田みのる、服部亮英、近藤藤浩一路、細木原青起、池田永治、水島爾保布の計 18 人による合作。



登録有形文化財「藤岡家住宅」（NPO 法人うちのの館）

〒637-0016・奈良県五條市近内町 5 2 6 番地

電話とファックス 0747（22）4013

午前 9 時～午後 4 時。月曜休館。月曜が祝日のときは開館して翌日休館。

大人（高校生以上）300 円・小人（小、中学生）200 円・幼児は無料

平成 27 年は 1 月 6 日（火）から開館します。

